

新型コロナウイルス感染症に対応したキャンパスガイドライン（生徒指導）

みなさんに求められること・・・

- ① コロナウイルス感染に関する「知識」
- ② キャンパス生活における「協力」
- ③ 私生活で求められる「自覚」



① コロナウイルス感染に関する「知識」

◆感染源を絶つこと

- ・自分の体調（良い時、悪い時）を把握してください。
- ・毎朝の検温及び風邪症状の確認してください。
- ・健康観察シートの記入してください。

◆感染経路を絶つこと

- ・手洗いやうがい、咳エチケットを徹底してください

◆抵抗力を高めること

- ・免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を摂ってください。



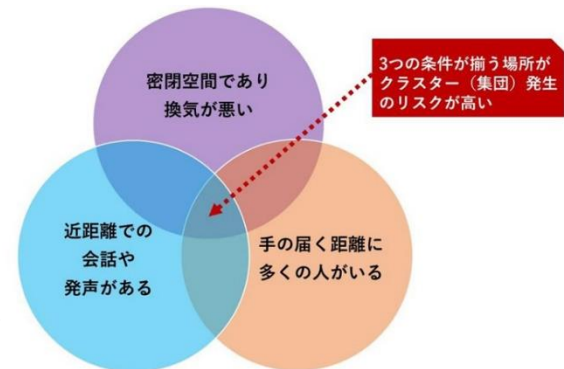
② キャンパス生活における「協力」

◆毎日の健康管理

- ・毎朝、家庭で検温をして健康観察シートに記入をして登校してください。
- ・キャンパスに登校したら、健康観察シートを職員室に提出してください。（健康観察シートを忘れた場合は、キャンパスにて検温します。）
- ・37.5℃以上の熱がある場合は、登校を控えてください。また、キャンパスまで連絡してください。（その他の症状がある場合でも、極力登校を控えてください。）

◆キャンパス生活にて

- ・各教室の換気を徹底して行ってください。
- ・多くの人が手の届く距離に集まらないよう配慮してください。
- ・近距離での会話や大声での発声を控えてください。
- ・マスクを着用してください。
- ・感染者に対する偏見や差別に繋がる行為は、断じて許されません。



③ 私生活で求められる「自覚」

- ・休日の過ごし方を見直してください。（多人数が密集する場所、換気が悪い場所は避ける）
例）飲食店、映画館、カラオケ、ゲームセンター、スタジオ、マンガ喫茶など
- ・アルバイトは極力控えてください。

「予備知識として（厚生労働省の発表より）」

◆コロナウイルスは、飛沫感染が主体と考えられ、接触感染や換気の悪い環境では、咳やくしゃみなどがなくても感染もあり得ると考えられる。

※「飛沫感染」とは、咳やくしゃみで飛び散ったしぶき（飛沫）を吸い込むことにより感染すること。

◆症状として、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛、鼻汁、鼻閉など）、頭痛、倦怠感などがある。

※初期症状は、インフルエンザの症状と似ている

◆ウイルスの潜伏期は、1～14日間であり、5日程度で発症することが多い。

◆感染した後、重症化につながる理由として、高齢者、基礎疾患（心血管疾患、糖尿病、悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患など）がある。40歳代までは重症化は少なく、50歳代から年齢が高くなるに従って致死率も高くなる。



<p>接触感染</p> <p>特徴 感染者（源）に直接接触して感染する</p> <p>例 伝染性膿痂疹（とびひ）、梅毒、淋病、破傷風など</p>	<p>飛沫感染</p> <p>特徴 咳やくしゃみで飛び散ったしぶき（飛沫）を吸い込むことにより感染する</p> <p>例 インフルエンザ、かぜ、百日咳、マイコプラズマなど</p>
<p>空気感染</p> <p>特徴 空気中を漂う微細な粒子（飛沫核）を吸い込むことにより感染する</p> <p>例 結核、麻疹（はしか）、水痘（みずぼうそう）</p>	<p>媒介物感染</p> <p>特徴 汚染された水、食品、血液、昆虫などを介して感染する</p> <p>例 コレラ（水）、食中毒（食品）、ウイルス性肝炎（血液）、マラリア（蚊）など</p>